

令和4年度 箕面市議会行政視察報告書

(建設水道常任委員会)

1 日程

令和4年 4月26日(火)～ 4月27日(水)

2 視察先

(1) 千葉県千葉市(ちば消防共同指令センター)

視察項目	消防指令業務の共同化について
視察目的	消防指令業務の共同運用の現状、メリットと効果、課題等を確認する。

(2) 東京都豊島区

視察項目	公民連携での公園の整備・管理について
視察目的	「小さな公園から、まちを変える」の理念のもと、豊島区が描く公園整備の現状を確認し、本市の公園リニューアル事業への提言の一助とする。

(3) 日本財団

視察項目	日本財団の活動内容について
視察目的	被災地への復興支援、子どもの貧困対策、パラリンピック支援、ハンセン病の病気と差別をなくす取り組み等の事例を確認し、競艇事業収益の社会貢献について再認識を図る。

3 参加者

委員	武智秀生委員長、神田隆生副委員長、高橋竜馬委員、桃山悟委員、 牧野芳治委員
----	--

(1) 千葉県千葉市（ちば消防共同指令センター）

項目	内容	備考
ちば消防共同指令センターの概要について	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県北東部・南部 20 市町消防本部の 119 番通報の受信、消防車や救急車の無線管制等の通信指令業務の運用を共同で行う。 	千葉市消防局長
最新の情報通信機器の導入について	<ul style="list-style-type: none"> 共同指令センターでは、119 番通報を受信した指令台に通報者の位置情報を瞬時に表示するシステムを設置。これにより速やかに発信地点が特定され、通報から消防車や救急車などの出動までの所要時間を短縮している。 	ちば消防共同指令センター長 ちば消防共同指令センター管理班長 ほか
共同指令センター開設の経緯について	<ul style="list-style-type: none"> 昨今、高度で複雑な災害対応や救急サービス等が求められており、また、大規模災害時においては、近隣市町村に対し迅速かつ集中的な広域応援を要請しなければならない等、既存の市町村消防本部では対応が困難な事例が発生するようになった。 国からの要請もあり、平成 25 年、県と県内の全消防本部で構成する協議会を設置。県内を 2 つのブロックに分けて整備する計画を策定。県内 2 カ所に共同指令センターを開設し、運用を開始している。 	同上
消防指令業務共同化のメリットについて	<ul style="list-style-type: none"> 複数の消防本部の災害情報などの情報共有することで、同時発生した災害に対し迅速な相互応援態勢が確保できる。 共同で施設を整備するため、単独の消防本部では整備が難しい最新の情報通信機器が導入できるようになった。 一部地域からの 119 番通報が集中した場合でも対応が可能な人員が常時確保できる。 	同上



所感

当該センターでは位置情報通知装置、車両動態管理装置など最新の情報通信機器を整備し、災害対応の迅速化を図り大きな成果を出されたとのこと。司令室で勤務する職員体制は協議会に属するそれぞれの自治体からの派遣職員で構成されていますが、チームワークも良く、機敏な対応に大変感動いたしました。また、司令室には千葉市内 17 の医療機関から派遣された医師が 24 時間体制で常駐しており、救急現場に医療的指導や助言を行っておられます。

このように、消防指令の共同化は多面にわたりメリットが散見され、今後の大阪府域消防一元化の重要性を再認識した有意義な視察でした。

建設水道常任委員長 武智秀生

(2) 東京都豊島区

項目	内容	備考
豊島区の概要について	<ul style="list-style-type: none">人口 283,595人（令和4年4月1日現在）東京23区の北西部に位置し、交通・経済・行政の中心は池袋であり、東京の副都心として発展している。	説明 豊島区議会議長
豊島区役所について	<ul style="list-style-type: none">平成27年5月に完成した新しい豊島区庁舎は、区民の税金を一切投入せず、区が所有していた小学校の跡地を75年間の借地権で事業者と契約し、高層マンションの一部を区役所として活用している。最新の情報技術による便利なサービス提供や10階に「豊島の森」を整備するなど区民の憩いの場所となる区役所をめざしている。	都市整備部 公園緑地課長 同 公園管理グループ 公園活用グループ / 中小規模公園活用グループのみなさん
南池袋公園について	<ul style="list-style-type: none">平成26年開園。豊島区の災害対策拠点となる庁舎と池袋駅の間にある。災害時に懸念される大量の帰宅困難者対策として、庁舎の災害対策本部と連携した災害情報の伝達機能、救援物資の備蓄機能、災害トイレなどが完備されている。園内のカフェレストランは、災害時の帰宅困難者に対して炊き出し支援を行うなど、地域の安全・安心を担っている。	同上

南池袋公園のカフェ・レストランの導入について	<ul style="list-style-type: none"> 公園内に魅力的な店舗を誘致することにより、質の高い憩いの場を提供するとともに、周辺の賑わいの創出を図る。 事業者の選定はプロポーザル方式。公園環境の維持と価値の向上を図っている。 	同上
公園の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> 芝生・低木の植栽管理は業者に委託。 カフェ・レストランは都市公園法に基づき事業者に10年間の管理許可を与えている。 地元の運営組織（南池袋公園をよくする会）によるイベント実施。 	同上
公園の維持管理経費の確保について	<ul style="list-style-type: none"> カフェ・レストラン事業者からの建物使用料、公園の地下に設置されている東京電力の変電所と東京メトロ有楽町線の地下占有料、これらを合わせた財源を維持管理経費に充当している。 	同上



所感

南池袋公園の特徴は、公園の運営に「サード・プレイス（居心地の良い第三の場所）」の理念が組み込まれていることです。現代社会において住宅と職場や学校を通勤するだけの生活では得られることのできない、地域への愛着を他者と共有できる居心地の良さを強く感じました。箕面市も、今後このような視点を参考に、誰もが地域で癒やされる公園づくりを目標に進めていただきたいと思います。

建設水道常任委員会委員長 武智秀生

(3) 日本財団

項目	内容	備考
日本財団について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1962年（昭和37年）創立。 創立者 笹川良一氏の「世界は一家、人類は、みな兄弟」という理念の具現化を図るべく、ボートレース収益の一部を財源として、年間800億円以上の資金をもとに、社会福祉・教育・文化・船舶・海洋・国際などの分野において、様々な慈善活動や国際協力援助などに取り組んでいる。 	説明 日本財団 総務部長
支援事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年熊本地震の被災地域に対し、総額127億円の支援を行った。以下概要 ○緊急対策支援 ○NPO・ボランティア活動支援 ○弔慰金・住宅損壊見舞金 ○熊本城再建支援 ○企業からの事業指定寄付等への事業 ○被災した社会福祉施設等への事業 ○学生ボランティアの派遣事業 	同上



所感

笹川良一氏の世界平和に対する理念に改めて感動いたしました。そして、箕面市競艇事業の売上げ向上が社会貢献に繋がる重要な要素であることを再認識いたしました。

建設水道常任委員会委員長 武智秀生